

個別施設計画

〔 消雪施設 〕

小矢部市 産業建設部 都市建設課

目 次

1 対象施設	1
2 消雪施設の現状と課題	1
2.1 消雪施設の管理個数・管理延長	1
3 消雪施設の維持管理の基本的な考え方	2
3.1 維持管理の基本方針	2
3.2 修繕計画の優先順位の考え方	2
4 維持管理計画	3
4.1 対策内容と措置が必要な消雪施設箇所一覧	3
4.1.1 取水施設（ポンプ）	3
4.1.2 散水施設（管路）	3

1 対象施設

この計画の対象とする消雪施設は、小矢部市で管理する井戸、ポンプ、電気設備及び、道路法上の道路に設置されている消雪パイプとします。

2 消雪施設の現状と課題

消雪施設は、冬期間の市民の生活と社会を支える基本的な社会資本であり、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保するとともに、快適な社会空間を形成する役割も果たしています。

これまでに建設・維持管理してきた消雪施設は、小矢部市の貴重な財産であり、市民サービスの向上を図るため、今後も大切に保全していかなければならない。

一方、小矢部市の消雪施設の多くは昭和 50 年代から 60 年代に設置され、設置から 30 年以上経過した現在、老朽化による施設の機能低下が著しく、適切な時期に適切な維持修繕が行われなければ、補修ストックは増加していくことになり、限られた予算の中でいかに効果的かつ効率的におこなうかが重要な課題となっています。

2.1 消雪施設の管理個数・管理延長

(1) 取水施設（井戸・ポンプ）

小矢部市が管理する取水施設を経過年数別で表-1 に示す。(令和 3 年 1 月現在)

表-1 取水施設の現状（経過年数）

単位：個

経過年数	取水施設（井戸）	取水施設（ポンプ）
～10 年	11	19
11～20 年	8	21
21～30 年	19	18
31～40 年	49	29
合計	87	87

(2) 散水施設（消雪パイプ）

小矢部市が管理する散水施設延長を表-2 に示す。(令和 3 年 1 月現在)

表-2 散水施設の現状

箇所数	総延長
91 箇所	69,779.8m

3 消雪施設の維持管理の基本的な考え方

3.1 施設管理の基本方針

小矢部市が管理する消雪施設は、取水施設 87 個、散水施設 91 箇所 69,779.8mを有しており、中心市街地や除雪困難箇所等における安全安心な交通確保のための重要な役割を担っています。

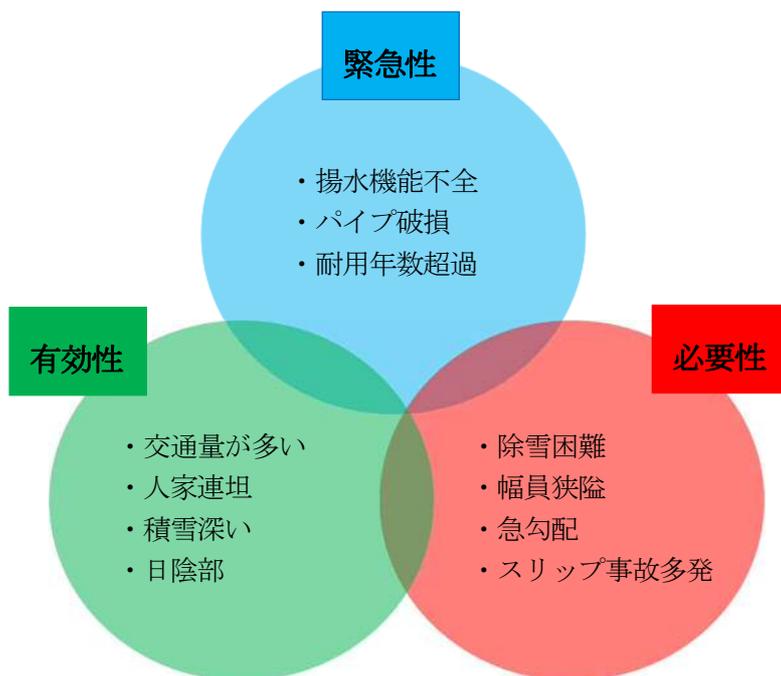
しかし、近年パイプの破損やポンプの経年劣化、井戸の濁水等消雪施設の老朽化による機能不全が確認されており、計画的な修繕を行う必要が生じています。

このことから、市が管理する消雪施設の異常に対して適切かつ迅速な処置を講じ、施設の適正な運用による安全安心な交通の確保はもとより、漏水等による道路舗装の劣化を事前に防ぐことによる道路の長寿命化や維持修繕に係るライフサイクルコストの縮減を図ることとします。

また、各消雪施設の重要度や交通量を踏まえ、適切な優先順位を設定することで、効率的な補修を実施します。

3.2 修繕計画の優先順位の考え方

修繕の重要度について以下の観点から判断し、優先順位を設け修繕を実施します。



ただし、施設の急な不具合などが生じることから、毎年施設の機能を点検確認し、早急な補修が必要と判断されたものから補修を実施します。

4 維持管理計画

当該個別施設計画の計画期間は、令和3年～令和12年までの10年間とします。

4.1 対策内容と措置が必要な消雪施設箇所一覧

4.1.1 取水施設（ポンプ）

・年間2基の取替を計画：年間事業費400万円

対策年度	箇所名	設置年度	経過年数	対策内容	備考
令和3年度	西町消雪施設利用組合	H8	24	ポンプ取替	公適債
	本町上野団地線消雪施設	S52	43	N=2基	公適債
令和4年度	駅前線消雪施設	S53	42	ポンプ取替	公適債
	細工町線消雪施設	S53	42	N=2基	公適債
令和5年度	清水蓑輪線第2消雪施設	S53	42	ポンプ取替	公適債
	下町清水線第2消雪施設	S53	42	N=2基	公適債
令和6年度	小矢部島分線消雪施設	S54	41	ポンプ取替	公適債
	上野高等学校線消雪施設	S54	41	N=2基	公適債
令和7年度	茄子島旧県道線消雪施設	S55	40	ポンプ取替	公適債
	石動東部消雪施設	S56	39	N=2基	公適債
令和8年度	小矢部3区消雪施設	S56	39	ポンプ取替	公適債
	市道後谷山手線消雪施設	S57	38	N=2基	公適債
令和9年度	城山第二消雪施設	S57	38	ポンプ取替	公適債
	石坂消雪施設	S57	38	N=2基	公適債
令和10年度	下町消雪施設	S57	38	ポンプ取替	公適債
	新橋南消雪施設	S58	37	N=2基	公適債
令和11年度	野端第一消雪施設	S58	37	ポンプ取替	公適債
	南部消雪施設	S58	37	N=2基	公適債
令和12年度	西町第2消雪施設	S58	37	ポンプ取替	公適債
	下町清水線消雪施設	S58	37	N=2基	公適債

4.1.2 散水施設（消雪パイプ）

・年間約100mの管路リフレッシュを計画：年間事業費500万円

対策年度	箇所名	設置年度	経過年数	延長	備考
令和3年度	下町清水線消雪施設	S58	37	L=50m	公適債
	清水蓑輪線第2消雪施設	S48	48	L=50m	公適債
令和4年度	南部消雪施設	S58	37	L=100m	公適債
令和5年度	南部消雪施設	S58	37	L=102m	公適債
令和6年度	南部消雪施設	S58	37	L=100m	公適債
令和7年度	清水蓑輪線第2消雪施設	S48	48	L=108m	公適債
令和8年度	清水蓑輪線第2消雪施設	S48	48	L=108m	公適債
令和9年度	駅前線消雪施設	S53	42	L=90m	公適債
令和10年度	細工町線消雪施設	S53	42	L=76m	公適債
	中町上町消雪施設	S53	42	L=42m	公適債
令和11年度	小矢部島分線消雪施設	S54	41	L=100m	公適債
令和12年度	小矢部島分線消雪施設	S54	41	L=100m	公適債